

美術科 2年 年間指導計画・評価計画

月	学習単元・内容・ねらい (時数)	評価の観点	評価規準	主な評価方法
4 5 6	○一版多色刷木版画【表現】 「私の好きな景色」(11) 【ねらい】遠近法を生かして奥行きのある風景を描く。色の重なり的美しさを生かし、全体のバランスを考えた、まとまりのある作品をつくる。	関心・意欲・態度	遠近法における自分なりの表現意図をもって、丁寧に作品を制作している。	授業観察 作品
		発想・構想	色の重なり的美しさを意識して色の選択をして、色彩表現できている。	授業観察 作品
		技能	奥行きを表現するための構図や、表現方法が的確であり、正確に形をとらえることができている。	授業観察 作品
		鑑賞	遠近法に関する知識を理解している。版画に関する知識を理解している。	定期考査 レポート
7	○夏休みの宿題【鑑賞】 レポート「気になる作品を調べてみよう」説明(0.5) 【ねらい】美術文化や文化遺産等に対する関心を高め、美術を愛好し、心豊かな生活を創造していこうとする。感性や創造力を働かせてよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、創造力の豊かさなどを感じ取り味わったり、理解や見方を深めたりする。	関心・意欲・態度	美術作品に関心をもち、その作品等について調べたものをまとめ、考えを深める。	ワークシート
		技能	鑑賞した作品を、丁寧に美しく模写することができている。	ワークシート
		鑑賞	考えたことや感じたことから、作品に対して自分なりの考えをもち、レポートにまとめる。	ワークシート
8	○夏休みの宿題【表現】 「ポスター制作」説明(0.5) 【ねらい】視覚伝達を理解し、テーマの伝達のための試行錯誤をする。感性や想像力を働かせて、ポスターデザインをし、美しい作品を制作する。	関心・意欲・態度	テーマを伝えるためのアイデアを深め、丁寧に制作しようとしている。	作品
		発想・構想	テーマを伝えるために、発想豊かにデザインし、的確な色を選択して着色することができている。	作品
		技能	テーマを伝えるための図柄を、わかりやすく美しく表現している。	作品
9	○日本の伝統工芸【鑑賞】 「日本の伝統工芸」(2) 【ねらい】日本の伝統工芸について、その歴史や特徴、制作工程、現代の作家について学び、日本のよさを知る。「用の美」を学び、生活の中の工芸美術に気付き、自らの生活を彩り豊かに送ろうとする気持ちをもつ。	関心・意欲・態度	身近な素材を生活に活かす伝統工芸のよさや美しさについて関心をもち、	ワークシート
		鑑賞	生活を豊かにし、技巧に支えられた伝統工芸について理解する。「用と美」についての考え方を理解する。	ワークシート 定期考査
10 11 12	○日本の伝統工芸【表現】 「陶芸」(3) 【ねらい】日本の伝統工芸について、その歴史や特徴、制作工程、現代の作家について学び、日本のよさを知る。「用の美」を学び、生活の中の工芸美術に気付き、自らの生活を彩り豊かに送ろうとする気持ちをもつ。	関心・意欲・態度	焼き物の実用性と美しさの調和に関心をもち、	作品
		発想・構想	用途や機能、使いやすさを考えてつくりたいものを発想し、楽しく使える器になるよう、形や色の効果を考える。	作品
		技能	陶土や用具の特性を生かし、つくりたいものにあつた方法を工夫して、見通しをもって表現する。	作品
		鑑賞	生活を豊かにし、技巧に支えられた伝統工芸について理解する。「用と美」についての考え方を理解する。	定期考査 レポート
10 11 12	○日本の美意識【表現】 「和菓子プレゼンテーション」(9)	関心・意欲・態度	工芸品に生かされている自然の美しさや季節の彩りなど、造形的な工夫に関心をもち、	作品

1 2 3	<p>【ねらい】日本の美意識について学び、日本のよさを知る。「用の美」を学び、生活の中の工芸美術に気づき、自らの生活を彩り豊かに送ろうとする気持ちをもつ。</p>	発想・構想	生活に息づく日本の伝統的な形や色、材料から発想を広げ、和菓子の企画の構想が練れている。	作品	
		技 能	表現したい内容にあった材料、用具を選び、使い方を工夫して表現することができる。	作品	
		鑑賞	日本の伝統的な材料や生活に息づく美術の働きについて理解をすることができる。	定期考査 レポート	
	○鑑賞【鑑賞】	<p>「最後の晚餐」(1)</p> <p>【ねらい】美術文化や文化遺産等に対する関心を高め、美術を愛好し、心豊かな生活を創造していこうとする。感性や創造力を働かせてよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、創造力の豊かさなどを感じ取り味わったり、理解や見方を深めたりする。</p>	関心・意欲・態度	「最後の晚餐」について自ら考えを深め、自分なりの考え方をもちことができる。	ワークシート
	鑑賞		「最後の晚餐」の歴史的背景や作者について理解し、作品の制作意図等について理解する。	ワークシート 定期考査	
	○鉛筆デッサン【表現】	<p>「スニーカーの鉛筆デッサン」(8)</p> <p>【ねらい】対象をよく観察し、それを素直に表現しようとしている。デッサンを学ぶことで、表現に対する意欲を高める。用具を的確に利用し、対象を明確に表現している。</p>	関心・意欲・態度	面や明度を捉え、丁寧に制作することができる。	作品
	発想・構想		明度や面の変化を観察し、その違いを表現している。	作品	
	技 能		道具をうまく利用し、鉛筆の色や方向の違いで、的確に明度や面の違いを表現している。輪郭線を意識して表現することができる。	作品	
	鑑賞		用具の使用方法を理解し、正しく表現できる知識を理解している。	定期考査 レポート	